

## 目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |   |            |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 49   | 可能な限り入居者の希望を聞きながら外出の努力はしているが、近所の人との関わりがほとんどなくまた施設内で過ごすことが多い。また、突発的な入居者の外出希望に対応できるようにしていく必要がある。 | 地域の人々にひかりを知って頂く。職員数に合わせ、入居者の希望がある時は、職員協力しあい、外出する機会を増やせるよう支援していく。 | 散歩途中、地域の方々に挨拶やお茶に誘う等声掛けしていき、触れ合いの場を作る。入居者の方の希望と人員を考え、外出できる日をシフトで作っていく。1日1回は外の空気が吸えるよう、外気浴、散歩、買い物を勧めていく。                     | 9ヶ月        |
| 2        | 35   | 実際の災害の際は、法人内の協力だけでは避難が難しい為、地域の応援と協力体制が必要とされる。訓練時等で地域の人達の協力の働きかけが必要。                            | 地域の方々を含めた避難訓練を1回開催する。  | 普段から、行事等への参加の呼びかけをして行き来できるようにしていく。避難訓練を行った際の内容を地域に紙面を使い、理解して頂く。近所の方や公的機関の人達に呼びかけを行う。  | 12ヶ月       |
| 3        | 2    | ひかりと地域との付き合い、施設としての認知がまだまだ少ない。   | 地域の方々と触れ合うきっかけを作っていく。  | 回覧板の検討。可能なら、「ひかり広報紙」や「認知症・グループホームについて等」の資料を作成し、回覧板を活用し少しずつ地域の方々に認知して頂く。散歩途中に地域の方々に声掛けしお茶に誘ったり等触れ合いの場を作る。ひかり内での催し物の参加を促してみる。 | 12ヶ月       |
| 4        | 4    | 委員の幅を広げていく必要がある。   | 委員の幅を広げる。  | 町内会長や班長、議題によってはその関係する機関等へ参加の呼びかけを行っていく。また、紙面にて運営推進会議の結果を報告する。   | 12ヶ月       |
| 5        |      |  |  |   | ヶ月         |